

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2021-45686 (P2021-45686A)

【公開日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-015

【出願番号】特願 2020-219246 (P2020-219246)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 3 日 (2021.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技における演出を制御するための演出制御手段と、  
前記演出制御手段によって前記演出のために制御され、動作を開始する初期位置から所定の動作範囲内を動作可能な可動役物と、  
前記可動役物を駆動させるモータと、  
前記演出制御手段から出力される駆動データに基づいて、前記可動役物を駆動させるための駆動電流を前記モータに供給する駆動電流供給手段と、  
を備えた遊技機において、

ホール営業を開始する前に前記遊技機に対する電力供給が開始されたときに実行される初期化動作として前記可動役物を初期位置に位置するように動作させ、

前記可動役物について前記初期位置に位置していることを検出する位置検出手段と、

前記位置検出手段の検出結果に基づいて前記可動役物に異常が発生していることを判定可能な異常判定手段と、

前記異常判定手段によって、前記可動役物に異常が発生していると判定された場合に外部に報知可能な報知手段と、

前記異常判定手段によって、異常が発生していると判定された可動役物の動作を禁止する可動役物動作禁止手段と、を備え、

前記報知手段により行われる報知の態様は、ホール営業を開始する前に前記遊技機に対する電力供給が開始されたときに実行される前記初期化動作時に前記可動役物に異常が発生していると前記異常判定手段により判定された場合と、前記可動役物を遊技が行われている遊技中に動作させる役物演出時に前記可動役物に異常が発生していると判定された場合と、で前記異常判定手段による異常の判定は前記初期化動作時と前記役物演出時で共通しているものの、異なる態様とされており、

前記異常判定手段は、前記位置検出手段によって前記可動役物が前記初期位置に位置していないことを連続して複数回検出したことを契機に前記可動役物に異常が発生していると判定する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0004  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0004】

しかしながら、上記特許文献1に記載される遊技機においては、可動役物に異常が発生する場合としては、遊技機に対する電力供給の開始時に、可動役物を初期位置に戻そうとした際に発生する場合や、演出時の可動役物の移動の際に異常が発生する場合などがあるのに対し、適切な報知が行えていない場合がある。

【手続補正3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0005  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、可動役物に異常が発生した場合に、異常が発生した際の状況に応じて適切な報知を行うことができることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0006  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0006】

請求項1に係る遊技機は、遊技における演出を制御するための演出制御手段と、前記演出制御手段によって前記演出のために制御され、動作を開始する初期位置から所定の動作範囲内を動作可能な可動役物と、前記可動役物を駆動させるモータと、前記演出制御手段から出力される駆動データに基づいて、前記可動役物を駆動させるための駆動電流を前記モータに供給する駆動電流供給手段と、備えた遊技機において、ホール営業を開始する前に前記遊技機に対する電力供給が開始されたときに実行される初期化動作として前記可動役物を初期位置に位置するように動作させ、前記可動役物について前記初期位置に位置していることを検出する位置検出手段と、前記位置検出手段の検出結果に基づいて前記可動役物に異常が発生していることを判定可能な異常判定手段と、前記異常判定手段によって、前記可動役物に異常が発生していると判定された場合に外部に報知可能な報知手段と、前記異常判定手段によって、異常が発生していると判定された可動役物の動作を禁止する可動役物動作禁止手段と、を備え、前記報知手段により行われる報知の態様は、ホール営業を開始する前に前記遊技機に対する電力供給が開始されたときに実行される前記初期化動作時に前記可動役物に異常が発生していると前記異常判定手段により判定された場合と、前記可動役物を遊技が行われている遊技中に動作させる役物演出時に前記可動役物に異常が発生していると判定された場合と、で前記異常判定手段による異常の判定は前記初期化動作時と前記役物演出時で共通しているものの、異なる態様とされており、前記異常判定手段は、前記位置検出手段によって前記可動役物が前記初期位置に位置していないことを連続して複数回検出したことを契機に前記可動役物に異常が発生していると判定することを特徴とする遊技機である。

【手続補正5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0007】

本発明によれば、可動役物に異常が発生した場合に、異常が発生した際の状況に応じて適切な報知を行うことができる遊技機を提供することが可能となる。